

今回は、3月11日（金）開催の「令和3年度関高等学校探究活動発表会」生徒アンケート結果の分析を報告します。

◇ 99.2%の1・2年次生が好意的評価

アンケート回答者数は、533名でした。（感染症配慮等での欠席があった関係で、全員からの回答を得られることはできませんでした。）「探究活動発表の内容を聞いてどう感じましたか」の項目に対し、「大変良かった」と「良かった」の回答数が、併せて529でした。

6. 探究活動発表の内容を聞いてどう感じましたか。

● 大変良かった	302
● 良かった	227
● あまり良くなかった	4
● 良くなかった	0



これは、1・2年次生回答者全体の99.2%を占めました。良好な学びの場になったと実感している生徒がほとんどであることが示唆されます。

◇ オンライン配信（Webex使用）について

昨年度に引き続き、発表会はオンライン配信でした。具体的には、校内の1教室を配信元とし、各ホームルームにその映像を配信する形で実施しました。

7. 今年度のオンライン配信での発表会実施についてどう思いますか。

● 適切	357
● どちらとも言えない	167
● 不適切	9



この配信方法については、67.0%の回答者が、「適切」と回答しました。各教室に配置してあるプロジェクタ等の機器の制約もあることが推察されます。

【2年次生テキストマイニング結果】

1年次生の結果と同様の傾向が見られました。

2年次生も、1年次生の発表に対して、関心を示していることがうかがえます。

「興味深い」という文言が大きくなっており、知的好奇心が惹起されたことが推察されます。



【まとめ】

表題のとおり、他年次（学年）の発表に関心を掻き立てられていることが分かりました。また、「ザリガニ」「外来種」「キウイ」「コンクリート」「空き家」といった文言の使用回数が多く、仮説を立て、現状認識をし、課題を洗い出し、課題解決法を考え出し、考え出した解決法を高い次元で実践してみたという研究が興味を引いたことが示唆されるテキストマイニング結果でした。

2年次生が英語で実施することについて、「内容が伝わりにくいので、やめるべき」といった意見がごく少数みられましたが、一方で「勉強になった」「英語学習のモチベーションが上がった」「次年度への目標になった」といった意見が否定的な意見を大きく上回る件数でみられました。この取り組みについては、当校のフォーマットとして今後も継続していきたいと考えています。

《アンケート概要》

回答総数：533

回答方法：Microsoft Forms 使用。当該 URL を QR コードで提示。

【質問項目】

- ・発表会全体の時間はどうでしたか。
- ・各発表者の発表時間はどうでしたか（1グループ・1人で6分）。
- ・探究活動発表の内容を聞いてどう感じましたか。（自由記述）
- ・今年度のオンライン配信での発表会実施についてどう思いますか。（自由記述）
- ・改善した方がよいと思うことがあれば記入してください。（自由記述）
- ・今年度の探究活動発表会で印象に残ったことを記入してください。（自由記述）
- ・その他、気になったことがあれば記入してください。（自由記述）